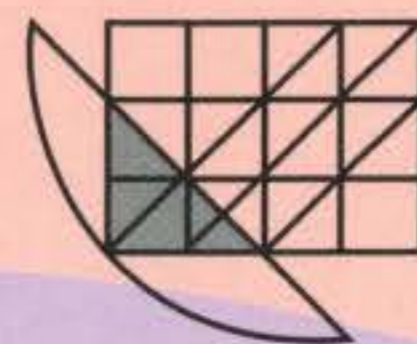


博物館だより



和歌山県立博物館

WAKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM

No.5

2000.3.31

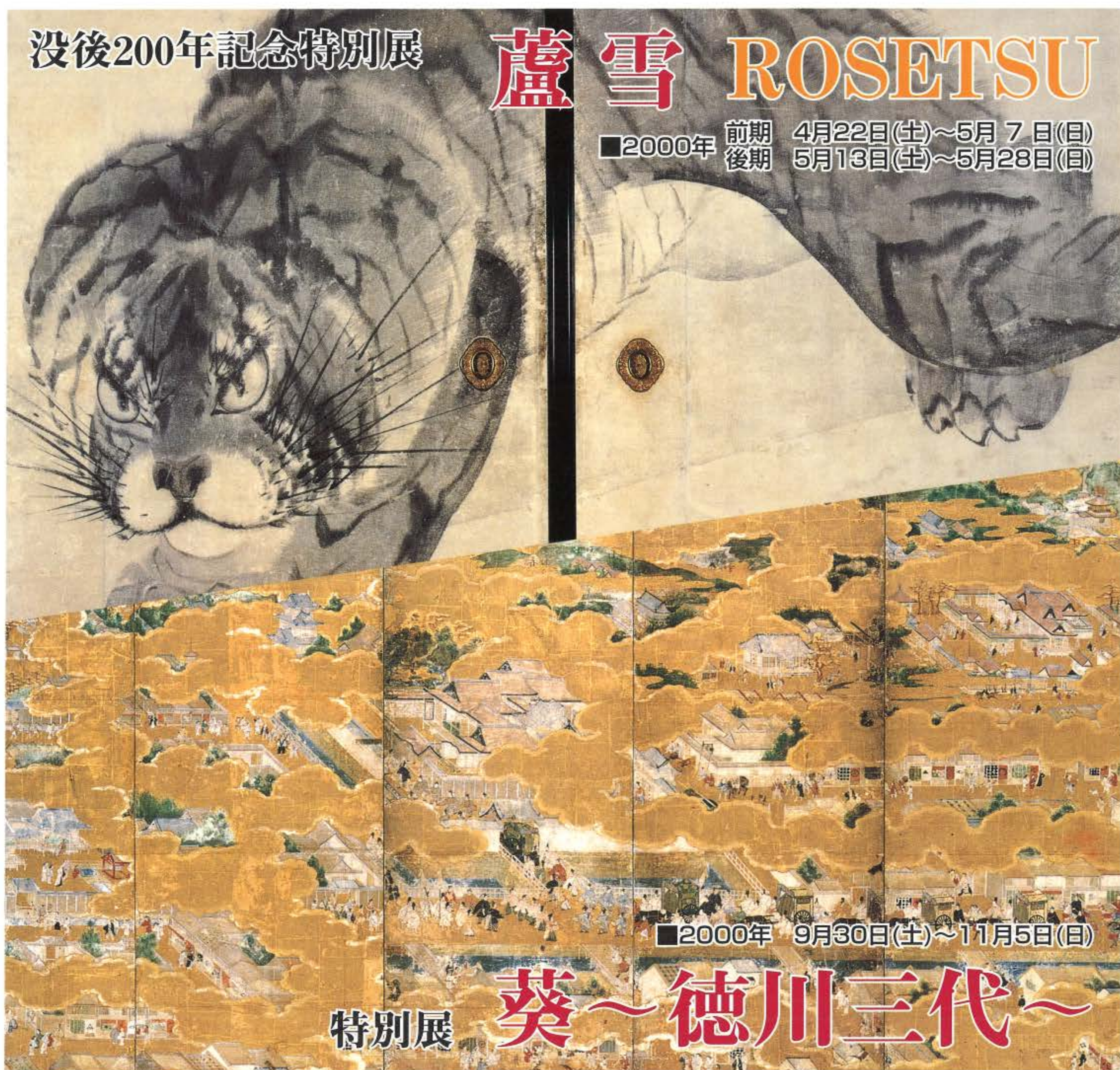
没後200年記念特別展

蘆

雪

ROSETSU

■2000年 前期 4月22日(土)~5月7日(日)
後期 5月13日(土)~5月28日(日)



■2000年 9月30日(土)~11月5日(日)

特別展 葵~徳川三代~

(上)重文 虎図 無量寺蔵 / (下)洛中洛外図屏風 国立歴史民俗博物館蔵

没後200年記念特別展

蘆雪 ROSEITSU

平成二年(二〇〇〇) 前期/四月二日(土)～五月七日(日) 後期/五月二三日(土)～五月二八日(日)

〔前期・後期で展示品の総入れ替えを行います〕

江戸中期の京都画壇で活躍した長沢蘆雪(一七五四～九九)。蘆雪は、円山応挙から画技を学び、後には師と袂を分かって、独自の画風を極めました。異端の画家として、国内だけではなく、海外からも高い評価を受けている、わが国を代表する絵師の一人です。

この特別展では、長沢蘆雪の一生涯を象徴する名品の数々を一堂に展観します。紀南で制作された襖絵の大作、新出の作品、アメリカからの里帰り品など、空前絶後の「大蘆雪展」です。この機会をどうぞお見逃しなく。

●開館時間/午前九時三〇分～午後五時

(入館は午後四時三〇分まで)

●休館日/月曜日

●入館料/一般

八〇〇円(六六〇円)

高校生・大学生 五一〇円(四〇〇円)

小・中学生 二六〇円(二一〇円)

*障害者および六五才以上の方は無料

* () は団体二〇人以上

●主催/和歌山県立博物館

日本経済新聞社

●後援/文化庁

【講演会】

四月二三日(日) 午後一時三〇分～二時三〇分

講師||東京国立文化財研究所美術部長 宮島新一氏

「南紀と芦雪」

五月一四日(日) 午後一時三〇分～二時三〇分

講師||当館学芸課長 小田誠太郎

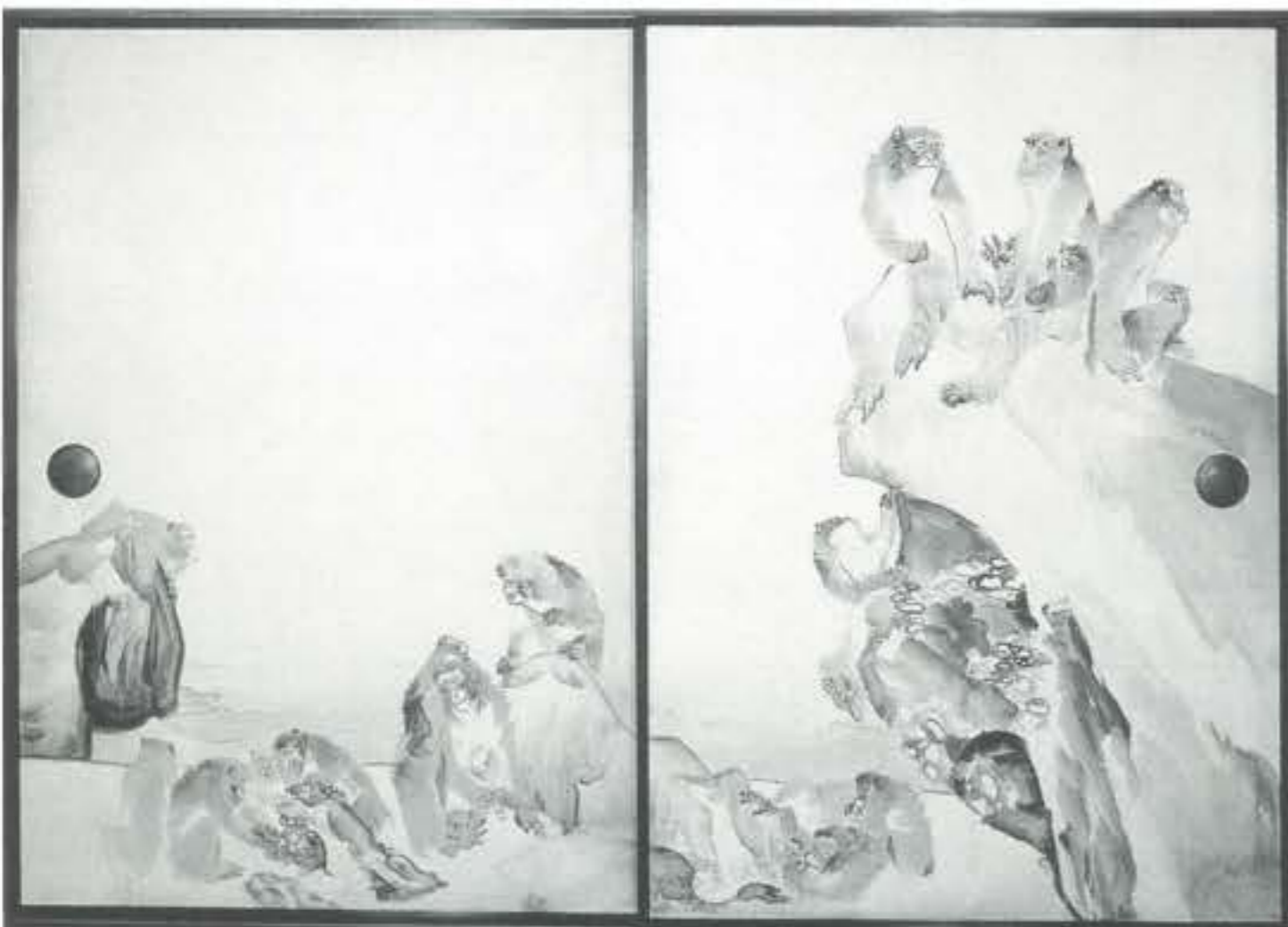
「芦雪の動物表現」

●両日とも会場は県立近代美術館二階ホール

●聴講希望者は博物館までお電話でお申し込み下さい。

さい。

●定員一二〇名になり次第、締め切らせていただきます。



重要文化財 群猿図 大乘寺蔵



県指定 寒山拾得図 高山寺蔵

葵 徳川三代

平成三十二年(二〇〇〇)九月三〇日(土) ～ 十一月五日(日)

家康・秀忠・家光をめぐる人間関係から、江戸幕府創業期の政治史を描く大河ドラマ「葵 徳川三代」が、現在放映されています。戦乱から平和への転換期となった時代を、多彩な美術品や歴史資料により再現する特別展を、「御三家 紀州徳川家」ゆかりの地・和歌山で開催します。



重文 東照大権現像(家光霊夢像) 日光山輪王寺蔵



洛中洛外図屏風 国立歴史民俗博物館蔵

● 開館時間 / 午前九時三〇分～午後五時
(入館は午後四時三〇分まで)

● 休館日 / 月曜日 ※一〇月九日(体育の日)は開館、翌一〇日は休館

● 入館料 / 一般 八〇〇円(六六〇円)

高校生・大学生 五〇〇円(四〇〇円)
小・中学生 二六〇円(二二〇円)

* 障害者および六五才以上の方は無料
* () は団体二〇人以上

● 主催 / 和歌山県立博物館
NHK和歌山放送局
NHKきんきメディアプラン

スポットライト・博物館 No.5

博物館の入口を出て右側の丘陵は、奥山公園と呼ばれています。丘全体が砂地で、かつてこの周辺には、「吹上浜」という大規模な砂丘が広がっていました。天仁2年(1109)11月、熊野詣での帰りに、吹上浜を訪れた中御門宗忠は、「このあたりの地形は、白砂が高く積もり、遠く山のようになっていて、300～400メートルほど草木がまったく生えていない。白雲を踏むようで極めて珍しい場所である。景色の美しさは、筆では書き留めることができない」(『中右記』より意訳)と、たいへん感動しています。現在は、博物館と一体のかたちで、公園として整備され、県民の憩いの場となっています。

奥山公園



◎壬辰倭乱図屏風

六曲一隻
紙本淡彩

縦九九・一cm 横二〇四・〇cm
朝鮮国時代（一九世紀）

豊臣秀吉の朝鮮出兵（文禄・慶長の役、壬辰倭乱、一五九二～九八年）における合戦の様子を描いた屏風絵です。雲や樹木、岩などの描き方、輪郭線の取り方等、日本の絵画にはない特徴がみられます。作者は朝鮮の絵師でしょう。ここで展開される合戦像は、韓国の安楽書院に伝来した「東萊府殉節図」（一七六〇年成立）を参考にしているようです。城塞の表現や将兵の描写が、非常によく似ています。

ではこの屏風絵は、文禄の役の緒戦、日本軍の東萊府攻撃の様子を描いたものでしょうか。絵の中身を細かくみていくと、そうではないようです。両図を比べてみると、「東萊府殉節図」には描かれているのに、「壬辰倭乱図屏風」には描かれていない図柄があることに気がつきます。李珣という武将が逃げていく場面、日本軍が城内に攻め込む場面、瓦を投げつけ抵抗する女性の姿等です。反対に画面左方の朝鮮の援軍は、「東萊府殉節図」にはないのに、「壬辰倭乱図屏風」には描かれています。

これらの点に注目すれば、「壬辰倭乱図屏風」では、援軍が来たことにより、朝鮮軍が城を守り切ったことが強調されているように思われます。朝鮮側の立場から、この条件に合致し、絵画化されるほどの有名な合戦を探していくと、第一次晋州の戦いが想起されます。第一次晋州の戦いとは、一五九二年一〇月、金時敏を守城将とする朝鮮軍が、義兵の応援を得て、細川忠興・長谷川秀一・太田一吉等率いる日本軍二万の攻撃を、晋州城で防ぎ切ったという戦いです。この戦いは、日本ではあまり重視されていませんが、朝鮮軍が初めて勝利を収めた合戦として、朝鮮側では注目を集めてきました。

地形表現など、いくつかそぐわない点がありますが、この屏風絵の合戦像に、第一次晋州の戦いのイメージが反映されていることは間違いのないように思われます。（T.O）



博物館の利用案内

開館時間 午前九時三〇分～午後五時
（入館は午後四時三〇分まで）
休館日 ・月曜日
（月曜日が祝日の場合はその翌日）
・臨時休館日

駐車場

九〇台収容
有料（二時間以内三二〇円、以後三〇分ごと
に一〇〇円追加）
（バスを駐車するスペースもあります）

・学校行事（遠足など）・授業でのご利用の場合、常設展については、ティーチャーズガイドと生徒用ワークシートを用意しておりますので、ご来館の前にあらかじめご連絡・ご相談ください。

入館料

一般	個人	団体
（特別展）	八一〇円	六六〇円
（企画展）	六一〇円	四九〇円
（常設展）	二六〇円	二一〇円
高校生・大学生	五一〇円	四〇〇円
（特別展）	四〇〇円	三三〇円
（企画展）	一五〇円	一二〇円
（常設展）	二六〇円	二一〇円
小学生・中学生	二六〇円	二一〇円
（特別展）	二一〇円	一六〇円
（企画展）	一〇〇円	八〇円
（常設展）	一〇〇円	八〇円

・団体は二〇人以上です。そのうち、引率者は無料です。
・六五歳以上の方と障害者の方は無料です。（受付で証明書などを提示して申し出てください）

和歌山県立博物館友の会

◆◆◆会員募集のお知らせ◆◆◆
県立博物館では、友の会会員を募集しています。常設展・特別展を無料で観賞できるほか、色々な特典があります。年会費は、一般会員が三、〇〇〇円、賛助会員が六、〇〇〇円です。
申込み・問い合わせは、和歌山県立博物館友の会事務局まで。
☎〇七三―四三六一八六七

和歌山県立博物館 博物館だより 第五号

発行日 平成二二（二〇一〇）年三月三十一日
編集 和歌山県立博物館
〒六四〇―八一三七 和歌山市吹上二丁目四番一四号
TEL（〇七三）四三六一八六七
<http://www.wakayama.go.jp/hakubutu.html>